

***ミディアン人との戦い——兵は多すぎる**

ギデオンは主なる神様から力をいただいて、ミディアン人との戦いに出て行くことになった。3万2千人の兵士が集まった。一方対するミディアン人の陣営には13万5千人ほどの兵士がいた。まだ互角に戦うには足らないと考えるのが普通だろう。しかし、主なる神様は兵が多すぎると言われた。神様は、時に人間の常識をはるかに超えた御心を示される。それは、私たち人間が自分の力を誇り、自分の手柄にすることがないようにするためなのだ。

***神様の方法で兵を減らす**

主なる神様は、ギデオンに命じて、兵を減らすようにされた。恐れおののくものは帰らなさいと。すると二万二千人が帰り、残りは1万人になった。これでもまだ多すぎると主は言われた。水辺で兵士たちに水を飲ませ、膝をついて犬がなめるように水に直接顔を近づけて水を飲んだ者は帰された。手で水をすくって飲んだ者だけが残された。戦いにいつでも出ていける備えができていた者が300人だけ選ばれたのだ。神様に信頼して、恐れずに戦いに出ていく者は、いつの時代も、多くはないのかもしれない。自分の力は弱くても、神様に信頼して、主が共におられるのなら、主が遣わして下さるのなら、恐れずに出て行こう、いつでも備えはできています、という決心のある者を用いて下さる。

***神様の方法で戦う**

それでも、まだ不安があるギデオンに、主なる神様は、敵陣偵察を許して下さり、ギデオンは、敵兵の夢で見た話を聞いて、神様が自分たちに勝利を与えて下さろうとしていることを確信した。

神様がギデオンに示された戦いの方法は、真夜中の勘違い同士討ち作戦。全員が角笛とたいまつを入れたつぼを持ち、真夜中、みなが眠り込んでいる時に、ミディアン人たちの陣営に入りこみ、ギデオンの合図でいっせいに角笛を吹き鳴らし、手に持っていたつぼを打ち壊した。「そして、主のため、ギデオンのため」と叫んだ。ものすごい音と、急にあらわれたたくさんのたいまつで、ミディアン人たちは驚いて混乱して、暗闇の中、味方同士で戦い始め、イスラエルの領地から逃げていった。

私たちは、いま、この時代に、この国に、この地域に、主なる神様によって生かされている。そして、主なる神様は、いつもふさわしい時に、私たちの常識を超えた神様の方法で、私たちを用いて、困難な問題をも乗り越えさせて下さる。